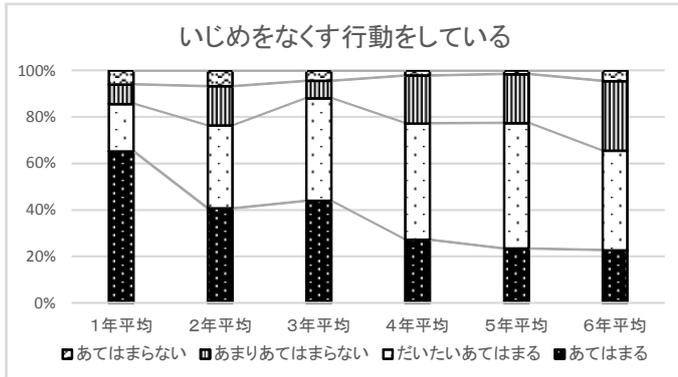


# 学校評価特集号NO3 ににに 笑顔いっぱい

## いじめ・差別のない学校に

「いじめをなくす行動をしているか」という問いに対して、「当てはまる」・「だいたい当てはまる」を合わせると、約8割は肯定的な回答（学年差はあります）をしています。「あてはまる」だけを見て見ると、学年が上がるほど低くなっているのがとても気になります。



いじめはダメ！と書いていても行動に移すことができにくくなっているのでしょうか？  
高学年の子どもたちの作文や日記を読ませてもらうことがあります。人権集会に参加することもあります。そこで聞くのは、次のようなこと。

- その行動はおかしいと思っても、やっぱり自分一人で「それはおかしい」とはなかなか言えない。
- 「あの態度、おかしいな。」と思っても、言ったら、自分が何か言われると思って、見て見ぬふりをすることがある。
- 注意をしたことがあるけれど、逆に反撃されていやな思いをしたことがある。

美咲野小便りでも、何回も書いてきましたが、差別意識は誰もが持ってしまう意識。持ってしまふからダメだということではなく、持ってしまった時、「やっぱり、これっていかんよね。」「やっぱり、いじめや差別はなくしていきたい。」と思うことが大切だと思うのです。

### 保護者の声

○先生は、いじめや差別をなくす取り組みや授業や帰りの会、学校生活のいろんな場面で指導して下さっています。子ども自身に自分で考えるよう促して下さっていることを、娘との会話の中から感じ取り、大変感謝しています。誰かが困っていたらいつでも手をさしのべることができる子どもに成長してほしいと願っています。

### 職員の声

○職員がアンテナを高くし、小さなことにも気付く力を身につけることが必要。どんな小さなことでも、職員間で共有したり、保護者と相談していくことが大切。



NO.17  
H31.3.14  
大津町立  
美咲野小学校  
文責：草場ルミ子

「子育て茶話会」なるものを、2回実施しました。参加した方々とは、いつもはできない深い話ができました。いくつかの資料を紹介して、フリートークで進めました。下に紹介した詩も紹介しました。江口いとさんの詩は、部落差別のことです。他にも答えのない道徳の問題」という本から抜粋したテーマも。「うそ、どう解く？」「ついていい嘘と、ついていけない嘘って、どう違うんだらう？」「すき」「どう解く？」「どうして好きな女の人どうしは、結婚しないんだらう？」「いじめ、どう解く？」「殴られても蹴られてもいらないのに、痛いつて感じるのはどうしてだらう？」などです。どれも、深く考えさせられる問題です。

下の江口いとさんの詩の最後、「どんな鋭い刃物より私の胸をさしました」という部分と、「いじめ、どう解く？」に対する作家の大野更紗さんからのメッセージ「言葉は、人間にとつていちばん便利で身近な道具だね。優しい言葉で、誰かを励ますこともできる。でも同時に人を傷つけてしまうことができるんだ。後略」は重なります。江口いとさんの詩は言葉だけではありませんが、共通しますね。いじめや差別、根っこは全部同じです。大人の人権感覚を子どもたちは感じています。

「招かれなかったお誕生会」  
江口いと

孫は小学4年生  
かわいい顔した女の子  
仲良しA子ちゃんのお誕生会  
小さな胸にうれしさと  
選んで買ったプレゼント  
早く来てねと友の呼ぶ  
電話の声を待ちました

夕陽が山に沈んでも  
電話の声はありませぬ  
孫はぼつりと言いました  
きつと近所のお友だち  
お茶わん足りに行つたので  
困って呼んでくれないうち  
お茶わん足りに行つたので  
困って呼んでくれないうち

2、3日たった校庭で  
A子ちゃん家の誕生会  
楽しかったと友人に  
聞かされた孫はA子ちゃんに  
私はどうしても待たないのよ

A子ちゃんとは悲しい顔をして  
私には誰よりも恵まれたの  
呼ばれた母は思つたよ  
呼ばれた母は思つたよ  
あやめ呼ばれた母は思つたよ  
あやめ呼ばれた母は思つたよ  
あやめ呼ばれた母は思つたよ  
あやめ呼ばれた母は思つたよ

お誕生会に招かれたよ  
お誕生会に招かれたよ  
お誕生会に招かれたよ  
お誕生会に招かれたよ  
お誕生会に招かれたよ  
お誕生会に招かれたよ  
お誕生会に招かれたよ  
お誕生会に招かれたよ

寂しく言つた孫の瞳に  
光る涙があらました

私の胸をさしました刃物より